

No.16

昆虫観察

1 ねらい

自然ふれあい館周辺には、森、草原、沢、湿原などの豊かな自然があり、様々な種類の昆虫が生息している。森や草原で昆虫を観察したり、昆虫を集めるトラップを工夫し、普段は見ることのできない昆虫の様子を観察したりすることができる。このような活動を通して、昆虫と植物との関係を考え、自分たちの住んでいる町の中で見られる昆虫と比較するなどして、自然や環境に関心を持たせる。

2 活動の計画

(1) 活動の計画

6～9月

(2) 所要時間

1時間～（所要時間は活動内容により異なる）

(3) グループ編成

1グループ5～8人程度

(4) 活動場所

自然ふれあい館周辺・泉ヶ岳スキー場ゲレンデ・やすらぎの森

(5) 準備物（必要に応じて準備する）

自然ふれあい館	利用団体
<ul style="list-style-type: none"> ・ ルーペ 15 個 ・ 移植ベラ (25 個) ・ 観察用水槽 (2 個) ・ 昆虫図鑑 (数冊) ・ 観察記録用紙 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 捕虫網 (スウィーピング) ・ 虫かご, ビニール袋 ・ 糖蜜や果物など餌にする物 (ベイトトラップ) ・ 紙コップ (ベイトトラップ) ・ ビニール傘 (ビーティング) ・ 叩き棒 (ビーティング)

◎採集方法例

※スウィーピング：木の枝先や下ばえの表面を軽くなでるように、ネットを左右に振りながら道沿いを歩きながら行う方法です。散策しながら採集します。

※ベイトトラップ：土に紙コップを埋めて、その中に餌となる物をいれます。落とし穴のようにトラップを仕掛けて昆虫を捕える方法です。

※ビーティング：木の枝、草などを叩き棒で叩いて、下に落ちた昆虫をビニール傘で受け取って採集する方法です。散策しながら採集します。

(6) 活動上の留意点

- ①事前踏査を行い、活動場所の確認と点検をしておいてください。
- ②危険な場所、有毒植物、毒虫などについて事前指導を行ってください。
- ③採集した昆虫は観察後必ず逃がすように指導してください。
- ④散策により昆虫観察を行う場合、パトロールの指導者を決めておき、安全確認や事故発生時の連絡と応急処置ができるようにしてください。

3 展開例

(1) 散策による昆虫観察

区分	内 容	備 考
説 明	1 活動のねらい 2 服装と準備物の確認 3 諸注意, 散策コース, エリアの確認	
活 動	<p>* 散策しながら観察します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花, 葉の上, 石の下などに注意して昆虫を観察します。 ・見つけた昆虫を記録します。 <p>* 散策しながら捕虫網や袋で採集します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採集した昆虫を館に持ち帰って調べます。 <p>◎図鑑で名前を調べる。</p> <p>◎昆虫をスケッチする。</p> <p>◎どんな種類を何匹みつけたかまとめる。</p> <p>◎みつけた場所と種類をまとめる。</p>	<p>* 活動範囲は時間や目的に応じて決定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草原→スキー場 ・森林→やすらぎの森 ・湿原→芳の平水芭蕉群生地 ・沢→沢のぼりコース
まとめ	<p>* 発表会 (感想・まとめをグループ 毎に発表)</p> <p>* 用具の後始末</p> <p>* 取った昆虫を逃がしてください。</p>	

(2) トラップによる昆虫観察

区分	内 容	備 考
説 明	1 活動のねらい 2 服装と準備物の確認 3 諸注意, エリアの確認	
活 動	<p>* ベイトトラップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖蜜や果物などの餌を紙コップに入れて, 地面に埋めて仕掛けます。 ・糖蜜を浸した綿や果物を網に入れて, 地面に埋めて仕掛けます。 ・次の日の朝仕掛けた所を調べてみます。 <p>どんな種類がどのくらい集まったか記録します。</p>	<p>* ベイトトラップの仕掛けは明るいうちにセットする。</p>
まとめ	<p>* 用具の後始末</p> <p>* 取った昆虫を逃がしてください。</p>	